◎航空業務に関する子体国政府とマレイシア政府との間の協定の付表の

(略称) マレイシアとの航空協定付表修正取極

平成 平成 二年年	平成 二年 九月平成 二年 九月	日本側書簡 ····································	目次	
二二二年年年	二年 九月			平平平成成成成
	十 九 九 月 月 月			二二二年年年年
九月 十二日 効力 十二日 クア 人名 十二日 クア		- 五 - 七	ページ	(外務省告示第四八一号)始力発生

の付表 に 関 の修正 する日本国政府とマレイ に 関する交換公文) シ ア 政府 との 間 の

航空

棠

務

協

定

マ 1 シ ア側書簡

訳 文

九 関 れ ア 年及び千九百 政府と日本国 百七十二年、 書簡 た協議 し千九百九 一日にクア を に言 もつ ラ・ 及 + 八 7 する 政 年三月 十九年に修正された航空業務に関 啓上いた 千九百八十 府と ランプ 光 米を 六 の 日 間 Ī します。 年、 の協 有します。 から八日まで ル で署名され 千九百八 定 (以下 本官は + の 「協定」とい 千九百六十五年二月 H 千 間 年、 東京において行 九百六十七 するマレイシ 千九百八十八 う 。 年 しに わ 千

代 定 の わって 本官は 付表 提 から 案する光栄 次 更 に、 のとおり修正され 萷 58 を有しま の 協 設に す。 るべ おい て到 ð Z とをマ 遴 した 合意 レ 1 に シ 従 7 政 61 府 協 に

付 表

I 路線 日本 国 の 一又は二以上の指定航空企業が両方向に 選営 す る

A テ ン 1 日 ガ 本 1 ボ バ 国 内 1 ン の コ ル ŋ 地 1 点 ジ ク 1 4 ı 台北 カ シ ンガ 夕 I 香 ボ 港 j 11 1 マ Ŧ, ニラ 7 7 -7 1 • ホ ラ ١ ンプー チミン・シ N

B 東 京 I ク 7 ラ . . ラ ン プー ル 及び 以 遠 の 地 点

マレイシアとの航空協定付表修正取極

(Malaysian Note)

Kuala Lumpur, September 12, 1990

Excellency,

on February 11, 1965, as amended in 1967, Japan for Air Services signed at Kuala Lumpur Government of Malaysia and the Government of consultations held in Tokyo from March 6 to referred to as the "Agreement"). 1972, 1980, 1990, concerning the Agreement between the I have the honour to refer to the 1985, 1988 and 1989 (hereinafter

Agreement be unended as follows: of Malaysia, what the Schedule to honour to propose, on behalf of the Government said consultations, I Pursuant to the agreement reached at the now have further the

Schedule

- **⊢**! the Routes to be operated in both directions by designated airline or airlines of Japan:
- Manila Ho Chi Minh City Bangkok -Points in Japan - Taibei - Hong Kong Jakarta. Singapole -Kuala Lumpur - Singapore
- 8 Tokyo beyond. Kuala Lumpur and one point

- C 日本国内の地点ーペナン
- D 日 1 本 シ 国 P 内 内 の の 地 点 地 1 点 クアラ・ ランプ į ル及びペナン以外 の
- II 4 る路 7 V 線 1 シ 7 の 又は二以上の 指定航空 企業 から 両方 向 に 運 営
- A 7 レ イシ 7 内 9 地 点 ı バ ンコ y ク 1 ホ 1 チ 111 ン • 3 テ 1
- B 注 サ ク 1 7 ン ラ フ 1 ラ ラ 香 ン 港 シ プ 1 ス 1 マ コ ル = 又は ラ 1 1 東 U 京 台 北 ス ŧ • 7: 1 7 ソ 1 χ. ウ ン ジ D j: J. I 儿 ä. 東 京 ス 1 1 及 (注3) び ソ ウル 注2)
- C マレイシア内の地点ー福岡
- D マレイシア内の地点 名古屋

注 1 き 上 ル る。 の岩 ル 7 ഗ 1 シア 航 た 85 を の の 行う間、 地 交は二以上 点としての ホ 1 チ T) ミン・シ 3 拦 運 茫 航を fiñ ? 行 テ 企 うことが 1 类 は は技 水 で 術

- 注 2 ح ない。 ホ 7 レ ル 1 ル シ ア ٢ の 9 間 一又は二以上 に お い て 第 の 五 の 指 定航 自 由 の 空 企業 運 輸 は、 権 を 行 東 使 京
- 注 3 の航 ح 業務を行 办5 か 7 でき 空当局に対 の V 地 1 って 点を シア 選択することが の L な 一又は二以上 九十日前に 他 の 地 点 へそ 通 できるも 9 告を行うことにより、 指 の選 定航 択 の 空 とし、 企業は、 を変更するこ 日本国 ず
- Ш う協定業務 の でなけ W ず n か ば は 一方 ならな の そ の 締 締約国 約 国 **0**) ただし、 の 領 又は二 域内 特定 の 以 路 Ŀ 線上 地 **(7)** 点 指 の を 定 起点 他 航 の 空 地 とするも 企 点点は 業 から 行

- C. Points in Japan Penang.
- D. Points in Japan one point in Malaysia other than Kuala Lumpur and Penang.
- II. Routes to be operated in both directions by the designated airline or airlines of Malaysia:
- 8 P Kuala Points in Malaysia -Manila - Taibei -Minh City (Note 1) Lumpur ı Tokyo -Seoul -- Hong Kong Bangkok -Honolulu (Notes Tokyo -FO Chi Seoul.
- and 2) San Francisco or Los Angeles (Note 3).
- C. Points in Malaysia Fukuoka.
-). Points in Malaysia Nagoya.
- Note 1: For so long as the designated airline or airlines of Malaysia is or are operating into Honolulu, it or they may only operate into Ho Chi Minh City as a point for technical landing.
- Note 2: The designated airline or airlines of Malaysia shall not exercise fifth freedom traffic rights between Tokyo and Honolulu.
- Note 3: The designated airline or airlines of Malaysia may select either point and, upon a 90 day notice to the aeronautical authorities of Japan, may change such selection to the point not being served.
- III. The agreed services provided by the designated airline or airlines of either Contracting Party shall begin at a point in the territory of that Contracting

の指定航空企業の選択により省略することができる。いずれかの又はすべての飛行に当たって、その一又は二以上

日付の日に効力を生ずることを提案いたします。府間の合意を構成するものとみなし、その合意が閣下の返簡のものであるときは、この番簡及びその旨の閣下の返簡を両国政本官は、更に、前記の提案が日本国政府にとって受諾し得る

かって敬意を表します。「本官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向

千九百九十年九月十二日にクアラ・ランプールで

マレイシア外務次官 カミル・ジャファー

マレイシア駐在日本国特命全権大使 中平 立閣下

Party, but other points on the specified routes may, at the option of the designated airline or airlines concerned, be omitted on any or all flights.

If the above proposal is acceptable to the Government of Japan, I have further the honour to propose that this Note together with Your Excellency's reply to that effect shall be regarded as constituting an agreement between the two Governments which shall enter into force on the late of Your Excellency's reply.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurances of my highest consideration.

(Signed) Datuk Ahmad Kamil Jaafar Secretary-General Ministry of Foreign Affairs Malaysia

His Excellency
Mr. Noboru Nakahira
Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of Japan
to Malaysia

日本側母簡)

(訳文)

の掛簡に宮及する光栄を有します。本使は、本日付けの閣下の次

マレイシア側書簡)

光栄を 問題 合意が本日 る旨を閣下に通報 に関する両国 使は、 有します。 効力を 日本国 生ずることを日本国 政 するとともに閣下の甞簡及びこの返簡がこの 政府がマレイシア政府の前記の提案を受諾 府間 の合意を構成するものとみなし、その 政府に代わって確認する す

かって敬意を表します。 本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向

千九百九十年九月十二日にクアラ・ランプールで

マレイシア駐在日本国特命全権大使 中平 立

マレイシア外務次官 カミル・ジャファー閣下

(Japanese Note)

Kuala Lumpur, September 12, 1990

Excellency,

I have the honour to refer to Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(Malaysian Note)"

I have the honour to inform Your Excellency that the Government of Japan accepts the above proposal of the Government of Malaysia and to confirm, on behalf of the Government of Japan, that Your Excellency's Note and this reply shall be regarded as constituting an agreement between the two Governments on this matter, which enters into force on this date.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurances of my highest consideration.

(Signed) Noboru Nakahira Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to Malaysia

His Excellency Datuk Ahmad Kamil Jaafar Secretary-General Ministry of Foreign Affairs Malaysia

この取極は、昭和四十年に発効したマレイシアとの航空協定(昭和四十年二国間条約集及び条約

築第一六一五号参照)の付表を修正するものである。